

各種講演会

医療倫理講演会 開催のお知らせ

当院では医療現場の問題を倫理的に考える講演会を、毎年開催しています。ご多忙かと思いますが、多職種で是非ご参加ください。どうぞ宜しくお願い致します。

開催日：平成23年11月11日(金曜日)

時間：17:45～19:00

会場：大分三愛メディカルセンター 2階会議室

講師：やまおか在宅クリニック院長

山岡 憲夫 先生

演題：「ターミナルケアについて

— 幸せな死を求めて医療者はどう対応するのか —



＜担当＞大分三愛メディカルセンター 地域医療連携室 萩尾（直通:097-542-7404）

第74回大分県医学会

9月25日(日)、第74回大分県医学会が大分県医師会館にて開催され、当院からは消化器内科の那須眞示医師と外科の藤原省三医師が一般演題での発表を行いました。

那須医師からは「心肺停止に至った症例からの消化器のリスクマネージメント」と題した演題での発表を行い、藤原医師からは外科・消化器科・救急科の医師7名により共同研究を行った「消化器癌救急 Oncogenic Emergency の検討」と題した演題での発表を行いました。

また、厚生労働省大臣官房審議官の唐澤剛氏による「地域ネットワーク型医療介護システム」と題した特別講演では、大分郡市医師会会長を務める半澤一邦理事長が座長を務め、質疑応答でも活発な討論が行われました。



大分南消防署勉強会

脳神経外科部長 中山 尚登 ~急性期脳梗塞に対するrt-PA静注療法と脳血管内治療~

9月26日(月)大分南消防署にて、「急性期脳梗塞に対するrt-PA静注療法と脳血管内治療」と題した勉強会が行なわれました。救急救命士などを対象に、大分市消防所・由布市消防所・竹田市消防所から計28名の参加がありました。

講話内容の概要としては、脳梗塞の急性期治療がその患者の予後を大きく左右するものの、発症3時間以内のrt-PAが投与できたかどうかだけが唯一のポイントではなく、主幹動脈が再開通できたか否かが最も重要なのであり、エビデンスがあるrt-PAと脳血管内治療両者をうまくコンビネーションさせていくことが重要であるとの話が述べられました。参加者からは「とても勉強になった」と大変好評で、第二弾を行ってほしいという声も聞かれました。

また講演後の質疑応答では数多くの質問や意見も挙がり、他県で使用されている倉敷病院前脳卒中スケール(KPSS：病院前脳卒中の評価)を例に上げた意見や、大分市東部地区で行われている症例検討会・勉強会についての意見に関する活発な討論が行われました。

今後さらに消防や医療機関との地域医療連携を積極的に取り組み、よりよい医療を提供していきたいと思っています。



市民公開講座の開催・講師派遣を行っています！

大分三愛メディカルセンターでは、地域貢献活動の一環として、地区のイベントや敬老会の集いなどの際に、当院の医師や看護師、理学療法士等を派遣して、各種病気の話や、病気予防の話、リハビリの話等を地区の公民館で開催しています。近隣地区の皆様の健康な生活の為に、また、より多くの皆様に大分三愛メディカルセンターの事を知って頂く為に、市民講座を開催させて頂きたいと考えています。

◆過去に行なった講座◆

- ・ 骨に関する話
- ・ 腸に関する話
- ・ 脳卒中の予防に関する話
- ・ リハビリテーションの指導
- ・ 前立腺に関する話
- ・ 呼吸器(肺炎等)に関する話
- ・ 寝たきりにならない為の話

※この他にも「こんな話を聞きたい」という要望や、「こんな事で困っている」というような事があれば、遠慮なくご相談下さい。

<お問合せ>大分三愛メディカルセンター地域連携室 萩尾 (直通:097-542-7404)

